

事務事業名	男女共同参画推進懇話会運営事業					☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	総務企画部	所属課	総務課
施策名	計画 17	人権が尊重される社会づくり				所属係	総務選挙班	課長名	出口増穂
基本事業名	体系 64	男女共同参画推進活動の実践				担当者名	飯開輝久雄	電話番号 (内線)	096-248-1112 1218
予算科目	会計 01	款 02	項 01	目 15	事業	法令根拠	男女共同参画社会基本法		
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 18 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) ○男女共同参画推進条例の内容検討 ・総則部会、施策部会に分かれ、他市の条例をもとに文言を検討し、草案を作成する。 ○男女共同参画における啓発の内容検討 ・講座部会と資料部会に分かれ、講座部会は、男女共同参画まちづくり講座について、資料部会は、「男女共同参画啓発冊子いっば」の内容を検討する。 (業務の内容) ①文書送付、②会議実施、③部会に分かれ条例の検討、④啓発講座、資料の検討、⑤次回の日程確認、⑥閉会 (予算の内訳) 報酬、旅費						総 計 入 量	事業 費	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
								事業費計 (A)	0
								正規職員従事人数	
								延べ業務時間	
								人件費計 (B)	0
								トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

市民の代表として、男女共同参画にかかる啓発内容の企画やその実施を行った。

・冊子発行、イベント企画運営、条例検討、各種研修参加

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

同上(但し、条例の草案は検討が終了しているので、市からの報告を受けるのみ)。

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

・男女共同参画推進懇話会
・男女共同参画推進懇話会委員

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

・男女共同参画の理解が深まる
・市民にわかりやすく、固定的役割分担意識を解消できる内容の啓発等を行う。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

・男女共同参画にむけて取り組むようになる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 会議数	回
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 議事案件数	件
イ 委員数	人
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 懇話会の意見が反映された項目数	件
イ 懇話会から提案された項目数	件
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 委員会、審議会への登用率(行政・学校)	%
イ 町内会代表における女性比率	%
ウ 男女共同参画社会が構築されてきたと思う市民の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円		964	827	827	827	827	
			事業費計 (A)	千円	0	0	964	827	827	827	827
	人件費		正規職員従事人数	人			4	4	4	4	4
			延べ業務時間	時間			344	344	344	344	344
			人件費計 (B)	千円	0	0	1,366	1,366	1,366	1,366	1,366
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	2,330	2,193	2,193	2,193	2,193
活動指標		ア	回			10	7	7	7	7	
		アイウ									
対象指標		ア	件			50	35	35	35	35	
		アイウ	人			20	20	20	20	20	
成果指標		ア	件			20	20	20	20	20	
		アイウ	件			30	30	30	30	30	
上位成果指標		ア	%								
		アイウ	%								
			%								

事務事業名	男女共同参画推進懇話会運営事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
・男女共同参画推進懇話会は、旧町時代にも設置されており、それを踏まえ平成18年6月1日に合志市男女共同参画推進懇話会として設置された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
・変化は見られない。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
・特に聞いている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 ・意図のわかりやすく固定的役割分担意識を解消するために、懇話会委員は、男女共同参画クイズや男女共同参画替え歌等を考案し、イベントで披露し、結果の男女共同参画について正しく理解できるように貢献している。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 ・市民の代表として、懇話会委員になり、それぞれの立場から行政に対して意見や協力がああり、それをイベントや啓発資料に活かされているので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 ・対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 ・懇話会委員の知識、認識、行動力等を研修会の参加で向上させる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 ・懇話会の活動を止めた場合、市民や団体の意見や参加協力等がなくなり、様々な活動に影響が出てくる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・類似の団体はないので、他に手段はない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 ・委員の数、会議回数を減らす。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 ・懇話会委員の人数、会議回数を減らせば、それだけ事務事業が減る。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・懇話会委員は、一般公募により募集しており、公平・公正である。また、懇話会で検討した内容は、合志市主催のイベントや合志市発行の啓発資料に反映され、全世帯に配布しているので、公平・公正である。

合志市

事務事業名	男女共同参画推進懇話会運営事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

・人数や会議数を減らすことができる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

・9月に上程予定の男女共同参画まちづくり条例で、「懇話会」がその中に新に謳われる。そのときに、委員の数を10人～20人にする可能性がある。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○		×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・委員の人数や会議数を減らせば、それだけ意見を吸い上げる機会が減ることになるので、そのようなことがないように、今後、人材や会議内容を十分に検討する必要がある。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項